

2021年3月4日発行 会報第1046号

今週のプログラム

(2021年3月4日 第1046回例会)

卓話：後期高齢者になって
(その1)
担当：黒川 彰夫会員

次回のプログラム

(2021年3月11日 第1047回例会)

卓話：ゆるっと ダイエット
担当：高尾 修会員

第1045回例会 (2021年2月25日の記録)

<会長の時間>

山本 友亮 会長

皆様、こんばんは。本日も ZOOM 例会でございますがよろしくお願い致します。

おそらく次回の3月4日はル・ジャルダンでの直接お会いしてのリアル例会になると思いますので、本日もご辛抱下さい。先日の臨時理事会で福島 21RC への震災に対する10万円の支援金が決定されました。その旨、伊藤会長に連絡をして何事にでもお役に立つようにご利用下さいとお伝えしましたところメールにて御礼のお言葉がありましたので披露させていただきます。

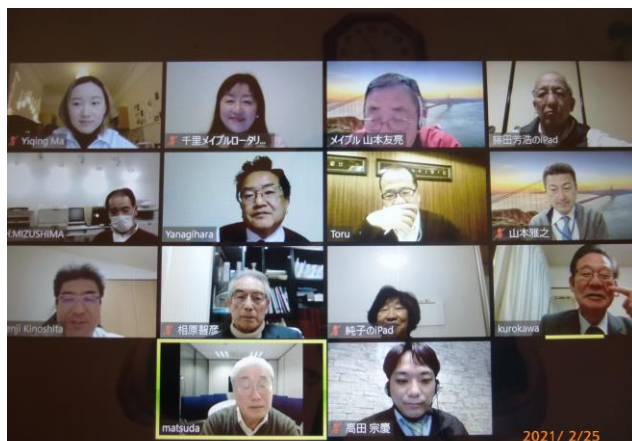
『拝啓

時下ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。地震に際しましては、貴クラブ様よりご心配をいただきまして誠にありがとうございます。また、貴クラブ様より当クラブへのご支援のお申し出をいただきましたこと、皆様の温かいお心遣いに感謝申し上げ重ねて厚く御礼を申し上げます。千里メイプルロータリークラブ様の益々のご発展並びに会員皆様のご健康を祈念致しております。

敬具』

2020-21年度 福島 21 ロータリークラブ 会長 伊藤淳一様より上記の書簡をいただきました。

本日は柳原会員の卓話とともに前年度米山奨学生の馬 逸清さんにイギリスからご参加いただけます。どうぞ最後までお楽しみ下さい。



＜本日のビジター＞ 2020 学年度 米山奨学生 馬 逸清さん

＜出席報告＞

会員数（内出席免除会員 1 名） 17 名
本日の出席者数 12 名
（内免除会員 1 名）
（名誉会員 0 名）
本日の出席率 70.59%
2 月のホームクラブ出席率 76.00%
※出席者数＝ZOOM参加者数

＜ロータリーソング＞

全会員

♪R-O-T-A-R-Y♪

R-O-T-A-R-Y That spells Rotary
R-O-T-A-R-Y Is known on land and sea
From North to South, from East to West
They profit most who serve the best
R-O-T-A-R-Y That spells Rotary

イギリスから馬 逸清さんの近況報告

オックスフォード大学はさすがにレベルが高く厳しい環境ですが、日本とシステムの違いもありますのでゆっくり慣れようと思います。学部により違いはありますが、私はずっとリモートで授業を受けていまして、インターシップの時以外は人に会う事はありません。こちらはとにかく食事がまずくて、食べるのが好きな私にはがっかりです。私がイギリスに来てからずっとロックダウンで、解除は早くても 5 月とされています。日本の緊急事態より、外出に関して政策的に細かい指示が出ています。スーパーマーケット以外の店は閉まっていますので、ほとんど家の中で過ごしています。こちらの人達は、人と会う時だけマスクを付けますが、基本的にマスクが嫌いなようです。人と会う事があまりありませんので、今日は皆さんとお目にかかれて嬉しいです。



＜幹事報告＞

水本 徹 幹事

1. 2/24 福島 21RC に地震災害支援金 10 万円、2/25 大阪府健康医療部に新型コロナウイルス助け合い基金をそれぞれに送金致しました。
2. 当 RC が世話クラブとして受け入れる 2021 学年度 新規米山奨学生が決定致しました。
[氏名]アクサ・メイリアナ・インタニさん [性別]女性 [国籍]インドネシア
[大学]大阪商業大学 地域経済政策専攻 修士 2 年 [受け入れ期間] 2021/4/1～2022/3/31 (1 年間)

＜2 月 18 日臨時理事会議事録＞

- ① 東北地方震災支援金→ニコニコ奉仕金より福島 21RC へ 10 万円支援
- ② 大阪府新型コロナ助け合い基金→ニコニコ奉仕金より社会奉仕で 10 万円支援
 - ・開催中止の為、返金された IM 登録料¥3,000×17 名分はメイプル基金へ振り替える。
 - ・3 月 4 日(木)リアル例会開催方向で決定

<卓話>

『この人を見よ』

柳原 健治会員

皆様は、水島廣雄さんという方をご存知でしょうか。この方は約 30 年の昔、急激に膨張・発展を遂げ、やがて崩壊していった百貨店「そごうグループ」の、実質の社長(⇒総帥)であった方です。この方は、1912 年に生まれ 2013 年(103 歳で逝去)お亡くなりになった、ある意味での「名経営者」であります。簡単に言えば、1958 年にそごうの副社長になるや、そこから約 30 年で「そごうグループ」は急成長し、1990 年から約 10 年で崩壊して行き、2,000 年を超えたあたりで倒産(約 1 兆 8700 億円の債務を抱えて)してしまいます。つまり、約 30 年かけて見事に「日本一」の百貨店グループ(最盛時国内だけでも約 30 数店舗あり)の座をつかみ取りそのグループに君臨し、そこからわずか 10 年で彼がこしらえた「そごうグループ」は、夢の様に消え果ててしまいました。まさに、この方の人生は、ジェットコースターに乗ったようなものでありました。

私は、1980 年頃公認会計士の二次試験に合格して、その当時の「昭和監査法人(⇒現在新日本監査法人)」に就職させて頂いたのですが、最初にお伺いしたのはそごう神戸店でありました。そこから、約 8 年監査法人に在籍したのですが、その間にそごうグループの各店にはかなり頻繁にお伺いしたことを思い出します。その間に、面白い事・びっくりする事・人に言えない事等をそれはそれは体験させて頂きました。その中で、感じたことは会社従業員の方々が、本当に水島社長さんを慕っていたことや、バブル経済の膨張と相まって、そごうグループはどこまでも発展・上昇して行くことを誰もが疑わなかったことであります。しかし、私が退社した後、バブル経済の破裂・崩壊と共にどうやらこの夢も萎んでいったようです。

水島さんはその後 89 歳で裁判にかけられ有罪判決(執行猶予付き(125 億円支払え))を受けます。かつての、彼の右腕・左腕の幹部連中が次々と自殺・病死を繰り返し消えて行く中、なおもこの人だけは飄々と生き続け、100 歳になった時には、かつてのそごうグループの社員同窓会に招かれ(⇒水島社長の百寿を祝う会)、皆の前で「手を振って」健在ぶりをアピールされました。世の中には、結構すごい生き方をされる方もいるものだ、心の底から感じさせられたものがあります。

私は、誰でしょう。



1. 三流老舗百貨店を業界No.1に押し上げたカリスマ経営者の黄昏～そごう元会長 水島廣雄～

2. 毀誉褒貶は誰にもある。だが、彼くらい毀誉褒貶の激しい人物は珍しい。人付き合いが苦手の読書家で、法学博士の肩書きを持ち、母校中央大学の教壇に立ったこともある。だが、その傍ら、銀行マンから百貨店の経営者に転じ、悲願の日本一を達成するという手腕も発揮した。かつて、日本最大の百貨店網を誇ったのみならず、アジア各地にも出店を果たした「そごうグループ」。その頂点にあって、長年にわたり支配した男の正体とは？

1. 1936年に中央大学法学部を主席で卒業後、日本興業銀行に入行。東北支店(当時福島市)に配属。1939年本店証券部信託課に転勤。融資課長、発行課長、証券部次長、中小工業部次長、特別調査室部長待遇査役と歩み、その後、そごう副社長に就任。1953年に学位論文「浮動担保(フローティング・チャージ)の研究」で法学博士号を取得。第5回毎日新聞学術奨励賞受賞。この論文が1958年に「企業担保法」という法律に結びつく。中央大学では1963年から70歳の定年になるまで20年間、週2コマの銀行信託論を教えた。東洋大学では1956年から27年間、週5コマを教えた。なお、中央大学では理事長職・総長職への打診を9回断っている。2014年7月28日心不全のため死去。享年102。

1. ●1958年 副社長就任

●1962年 社長就任

2. 1980年 柳原健治 監査法人に入社。そごうに補助者として連れて行かれる。

●1982年(ヴァチカン最高位勲章受章)

●1988年(経営者賞受賞)

●1988年(ヴァチカン最高位勲章受章)

1988年 柳原健治 監査法人を退所・独立。

●1989年(新技術開発財団会長就任)

●1990年(近畿百貨店協会会長就任)

(日本百貨店協会副会長就任)

栄光の日々と、黄昏。

- 1 ●1990年までにそごうグループは日本全国に30店舗を展開した。このころには、銀行から1兆数千億円の貸し出しを受ける。
- 2 ●1991年30店目の川口そごうオープンを機に経営は徐々に悪化。
- 3 ●1993年（ヴァチカン最高位勲章受章）
●1994年3月 会長就任。興銀と長銀から送り込まれた副社長が社長になる。

倒産から逮捕。

- 1 ●1994年（エンコミエンダ勲章受章）
●1998年（レジオンドヌール勲章受章）
●2000年4月 会長(全役職)辞任、直後にそごう1兆8700億円の負債を抱えて倒産。
- 2 ●興銀から連帯保証債務の負担を求められる。
- 3 ●2001年5月、強制執行妨害容疑で89歳ながら逮捕される。
- 4 ●2003年10月、東京地裁で連帯保証分について125億円余りの支払い命令判決が下される。
- 5 元株主からも、水島元会長と、監査法人に対して告訴される。

有罪確定

- 1 ●2006年8月、強制執行妨害罪で懲役1年6ヶ月執行猶予4年の有罪判決が確定した。
- 2 ●一連の捜査に対して、中央大学講師時代の水島に教えを受けた弁護士や商法の専門家が集まり、大弁護団を結成した。

戦い済んで

- 1 ●有楽ちぎり会（⇒旧そごうの従業員親睦会）に、百寿お祝いの会に招かれ、皆の前で手を振る。
- 2 それ以降、102歳のお祝いを車いすに乗って受ける。場所は、聖路加病院の介護付きマンションで暮らしていた。

エピソード

1. そごうの多店舗化を可能にしたのは、バブルによる地価の上昇で金融機関から多額の借入れが可能となり、土地価格が上がるほどに出店が可能となった。
2. しかし、地価の上昇がストップすると、逆回転が始まった。
3. 上り坂の時は、どの店舗にお伺いしても、社長を悪く言う従業員は一人もなかった。

黒崎そごうでの出来事

1. この店だけが、水島社長ではない。別人が社長を行っている。
2. 監査にお伺いさせてもらった時の事です。経理部長と店長が非常に困り果てていました。
3. 理由を聞くと、地元の小物の「反●（⇒ヤ●ザ）」が、因縁をつけてきたとの事。社長に告げると、お目玉を食う（小さなことで、私を煩わすな!）。
4. どうしたものか……

その翌日の事……

1. 一目で、それとわかる人物が羽織袴で登場した。
2. 開口一番、「困ったことがあるでしょう!」
3. 「うちの娘が、こんな立派な会社にお世話になり、有難いことです。」
4. 店長さんが、「何卒、宜しくお願いします。」

消えました。

5. チンピラは、

